



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 大同工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6373 URL <http://www.did-daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新家 康三

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 菊知 克幸

TEL 0761-72-1234

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	34,204	7.1	2,199	1.2	2,664	4.2	1,620	11.5
29年3月期第3四半期	31,940	5.6	2,172	6.4	2,556	40.5	1,453	152.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 3,524百万円 (102.9%) 29年3月期第3四半期 1,737百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	172.15	
29年3月期第3四半期	154.42	

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	63,173	30,115	38.9	2,607.67
29年3月期	58,478	27,136	37.6	2,332.93

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 24,545百万円 29年3月期 21,959百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		7.00	7.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は7円となり、1株当たり年間配当金は7円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,900	7.6	2,800	8.6	3,000	8.5	1,900	4.7	201.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	9,433,986 株	29年3月期	9,434,201 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	21,590 株	29年3月期	21,238 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	9,412,757 株	29年3月期3Q	9,413,279 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月27日開催の第124期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末 7円00銭
- 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 40円37銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、米国政権の政策運営や東アジア情勢など不透明な状況が続いたものの、米国や欧州をはじめとして世界経済は総じて回復基調で推移しました。国内においても、個人消費の持ち直しや企業業績の改善が進み、緩やかな回復基調が続きました。

このような状況のもと、国内は、前年同期において熊本地震の影響などにより、完成車メーカー向け二輪車用チェーン、アルミリムの受注が低調であったものの、前期の後半より受注が回復基調となるとともに、二輪車用アルミリムにおいては新機種を獲得できたこと、二輪車用チェーンにおいては欧州補修市場向けの受注が好調であったこと、さらに産業機械用チェーンにおいて建機やエスカレーター用等の受注が好調に推移したことから、売上高は前年同期を上回りました。アジアは、アセアン諸国において二輪車用チェーンの受注が完成車メーカー向け及び補修市場向けともに好調に推移し、中国においては、日系自動車メーカーの増産を背景に四輪車用チェーンの受注が好調に推移したことから、売上高は前年同期を上回りました。北米は、四輪車用チェーンにおいて、前年同期の新規の立ち上げ後の一服感もあり、売上高は前年同期を下回りました。南米は、産業用・農業用チェーンの受注が新規案件獲得に向けた施策の展開により好調に推移するとともに、二輪車用チェーンにおいて完成車メーカー向けの受注が好調に推移したことから、売上高は前年同期を上回りました。欧州は、完成車メーカー向けの二輪車用チェーン及びアルミリムの受注が好調に推移し、補修市場向けにおいても付加価値の高い二輪車用チェーンの受注が好調に推移したことから、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は34,204百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益は2,199百万円（前年同期比1.2%増）、経常利益は2,664百万円（前年同期比4.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,620百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ、受取手形及び売掛金が707百万円、仕掛品が664百万円、機械装置及び運搬具が488百万円、建設仮勘定が582百万円、投資有価証券が2,113百万円増加したことなどにより4,695百万円増加し、63,173百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末と比べ、支払手形及び買掛金が675百万円、未払法人税等249百万円、繰延税金負債が472百万円増加したことなどにより1,716百万円増加し、33,058百万円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ、利益剰余金が1,289百万円、その他有価証券評価差額金が1,132百万円、非支配株主持分が393百万円増加したことなどにより2,978百万円増加し、30,115百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,724	7,603
受取手形及び売掛金	9,514	10,221
商品及び製品	3,830	4,128
仕掛品	2,188	2,853
原材料及び貯蔵品	2,308	2,368
繰延税金資産	472	369
その他	1,258	1,361
貸倒引当金	△49	△49
流動資産合計	27,247	28,858
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,502	5,384
機械装置及び運搬具(純額)	5,942	6,431
土地	2,787	2,772
リース資産(純額)	704	549
建設仮勘定	894	1,476
その他(純額)	675	758
有形固定資産合計	16,507	17,372
無形固定資産		
ソフトウェア	122	138
その他	13	13
無形固定資産合計	136	151
投資その他の資産		
投資有価証券	13,970	16,083
繰延税金資産	92	140
その他	500	550
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	14,562	16,772
固定資産合計	31,206	34,297
繰延資産		
社債発行費	23	18
繰延資産合計	23	18
資産合計	58,478	63,173

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,205	5,881
短期借入金	4,837	5,173
リース債務	158	111
未払法人税等	145	394
賞与引当金	510	334
役員賞与引当金	40	—
製品保証引当金	15	16
受注損失引当金	234	128
その他	2,419	3,191
流動負債合計	13,566	15,231
固定負債		
社債	4,500	4,500
長期借入金	8,457	7,774
リース債務	283	261
繰延税金負債	1,971	2,444
退職給付に係る負債	2,422	2,552
その他	140	293
固定負債合計	17,775	17,826
負債合計	31,341	33,058
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,726	2,726
資本剰余金	2,060	2,061
利益剰余金	11,849	13,139
自己株式	△19	△20
株主資本合計	16,616	17,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,100	6,233
為替換算調整勘定	257	393
退職給付に係る調整累計額	△15	9
その他の包括利益累計額合計	5,343	6,637
非支配株主持分	5,176	5,570
純資産合計	27,136	30,115
負債純資産合計	58,478	63,173

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	31,940	34,204
売上原価	24,805	27,031
売上総利益	7,134	7,173
販売費及び一般管理費	4,962	4,974
営業利益	2,172	2,199
営業外収益		
受取利息	64	73
受取配当金	219	236
為替差益	—	10
持分法による投資利益	224	243
その他	140	97
営業外収益合計	648	661
営業外費用		
支払利息	187	152
為替差損	14	—
その他	61	44
営業外費用合計	264	196
経常利益	2,556	2,664
特別利益		
固定資産売却益	10	56
特別利益合計	10	56
特別損失		
固定資産売却損	7	7
固定資産除却損	12	9
特別損失合計	19	16
税金等調整前四半期純利益	2,546	2,704
法人税、住民税及び事業税	413	591
法人税等調整額	242	31
法人税等合計	656	623
四半期純利益	1,890	2,080
非支配株主に帰属する四半期純利益	436	460
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,453	1,620

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	1,890	2,080
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,088	1,123
為替換算調整勘定	△1,279	281
退職給付に係る調整額	26	25
持分法適用会社に対する持分相当額	12	13
その他の包括利益合計	△153	1,443
四半期包括利益	1,737	3,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,687	2,914
非支配株主に係る四半期包括利益	50	609

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。